

RAKUSAI PUB.LAB.

Workshop Report vol.2



洛西ニュータウンのこれからを市民とともに考え、作り上げるワークショップ“RAKUSAI Pub.Lab.(洛西パブラボ)”の2回目が9月23日に開催されました。

開催概要

日 時 2024年9月23日(月・祝) 10:00~12:30
会 場 西京区役所洛西支所 2階 大会議室
参加者 36名(京都市若手職員9名含む)

当日の流れ

- 1 はじめに
- 2 趣旨説明
- 3 ワーク①「わたしのみらいの暮らしを考えよう！」
- 4 ワーク②「みんなどんな暮らしがしたい？」
- 5 おわりに

はじめに

京都市では洛西地域の活性化を目指し、令和5年度に「洛西“SAIKO”プロジェクト」を立ち上げ、全庁一丸となってすぐに取り組む6分野55の実行作をとりまとめました。洛西 Pub.Lab. は、この実行策の一つとして、10年後の洛西の将来像を市民の皆さんと描き、公共空間を活用しながらその実現を目指す取り組みです。



京都市 都市計画局
住宅室住宅政策課
嶋澤担当係長

今年度の流れ・ワークショップについて

本ワークショップでは、地域に住むみなさん、活動団体や事業者など、さまざまな年代や知識を持つ人が集まり、対話やインプットを通して学び合いながら洛西の未来を考えます。暮らしを楽しく、地域を良くする活動や支援について話し合い、11月には公園などを使って、理想の暮らしを体現するお試しいventoを行います。

スケジュール

- 1 9/7(土) 10:00-12:30
洛西ニュータウンの魅力とこれから
- 2 9/23(月・祝) 10:00-12:30
理想の暮らしを考えよう！
- 3 10/6(日) 10:00-12:30
楽しく豊かに暮らしていくためのアイデアを考える
- 4 10/19(土) 10:00-12:30
お試しい実施にむけた準備をしよう
- お試しい実施
- 5 11/4(月・祝)
まちなかでのお試しい実施
- 5 12/14(土) 10:00-12:30
お試しいを振り返り、ビジョンをアップデートさせる

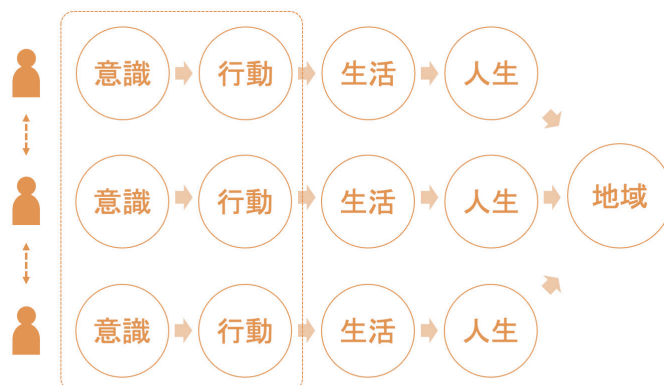
趣旨説明・ペルソナについて

前回のワークショップのふりかえりのあと、ペルソナを設定する意義について共有がありました。地域とは、そこに住む住民 1 人ひとりの生活から成り立っています。皆さん 1 人ひとりが洛西でどのような暮らしをしていきたいかを描くことが、地域づくりの一步です。

ポイント

- ・ 10年後の自分がどのように洛西で暮らしているか、関わっているかを描く
- ・ グランドデザイン2033 ver1のペルソナを、皆さんが描いたペルソナをもとにアップデート

地域は住民の生活から成り立っている



関わる人の暮らしから地域の未来が生まれる

ワーク① わたしのみらいの暮らしを考えよう！

ワークシートを使って10年後の自分のペルソナを作成し、4つのビジョンの中から近いものを選び、席替えを行いました。席替え後、テーブルメンバーでペルソナシートを共有しました。



まずは10年後の自分を描く



ビジョンごとに席替え



ペルソナシートを共有

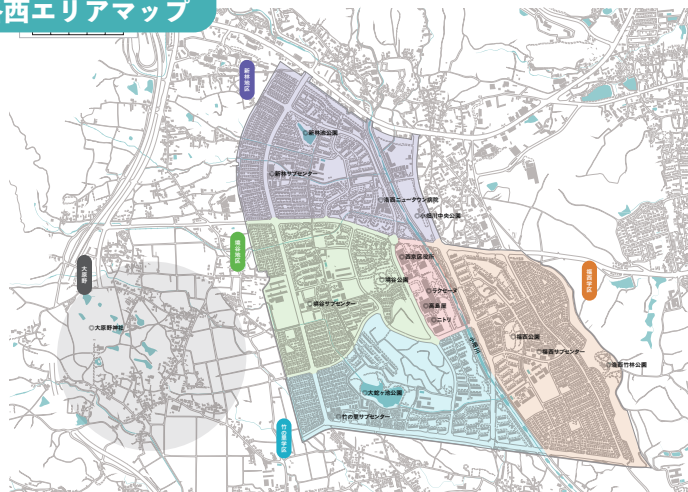
ワーク② みんなどんな暮らしがしたい？

後半のワークでは、「みんなどんな暮らしがしたい？」をテーマにビジョンやペルソナをふまえ、10年後の洛西エリアのどこでどんな風に過ごしているか、またどんな暮らしが実現しているとよいかを考え、地図に落とし込みました。

洛西 4つのビジョン

- ・ まち全体が家のように完結するまち
- ・ 利便性を追求しすぎない新しい働き方
(しごと／自然を楽しむ)
- ・ 時代に応じた新しい住み方
(芸術・創作／多文化共生)
- ・ 人とエリアが交流しつながるまち
(食と農／公共空間を生かす)

洛西エリアマップ



洛西の未来の暮らし方

当日発表された意見の内容(一部)を紹介します。多くの意見が出たため、当日発表された内容から抜粋しています。

まち全体が家のように完結するまち

テーブル1

サブセンターを市民の拠点に

みんなでピザ釜をつくってピザを焼いたり、マルシェやバルなどが展開され、洛西のクラフトビールを飲んで交流をすることができる。

竹林のシェア

洛西を訪れたり、移住した人がその地域の料理を披露したり、体験プログラムを企画したり、市民が自由に使えるスペースとして活用されている。

小畑川で1人～みんなとの時間を楽しむ

川べりで寝転がったり、屋外本棚で読書など1人の時間を楽しめたり、展示会や駄菓子屋などみんなで楽しめたり、様々な過ごし方ができる。



利便性を追求しすぎない新しい働き方

テーブル2

新しい働き方に対応した住環境

Wifi 環境の強化や、あえて歩くことを推奨して「働きながら健康になるまち」として知られている。

小学校の活用

廃校となった学校を、教室はワーキングスペースとして、家庭科室は調理施設として新しい仕事生まれるインキュベーション施設として運用している。

地元企業、個人事業主が元気

地元企業や個人事業主が中心となって商業施設やお店を運営している。また、喫茶店のマスターなど、洛西内のコミュニティとつながったり紹介したりしてくれる人がおり、洛西に仕事をしたい人が相談ができる場所があり、新たな交流が生まれている。



時代に応じた新しい住み方

テーブル3

洛西地域の魅力発信

既存の洛西地域のグループ活動やコミュニティの情報を内外に継続して発信することで、興味がある人が洛西に集まってきたり、仲間が増えたりする。

大原野サイクリングツアー

大原野の野菜無人販売所やアートスペース、自然を楽しむ場所、収穫体験などをみんなで巡り、地域の魅力を知ることができる。

誰もがアクセスできる中心地

商業施設や公園、川などに、障害のあるなしにかかわらずアクセスしやすい環境がある。



利便性を追求しすぎない新しい働き方

テーブル4

どこでもリモートワーク

洛西の自然豊かなところ(小畑川周辺や畑など)でもリモートワークができる環境がある(Wifi や電源など)。

新しいつながりや働き方が生まれるスペース

フリーランスやアーティスト、リモートワークをしている人が集まれるコワーキングスペースがある。市営住宅や公共空間などを活用する。

高齢者と小中学生がつながるしくみ(しごと)

高齢者と小中学生が互いに見守り、支え合うような仕組みがある。



時代に応じた新しい住み方

テーブル5

思いおもいに過ごす小畑川エリア

馬やヤギなどもいる牧場、ドックランなどを川上につくる。音楽を演奏している人がいたり、自由に椅子をおいてビール片手に過ごしている人がいる。

キッチンカーや移動販売などの小商い

各サブセンターを拠点に、キッチンカーや移動販売などを営む人が現れ、地域の高齢者などの買い物支援にもつながっている。

古民家のチルスペース

大原野エリアの古民家を、ライブなどができるスペースとして活用し、自然の中でチルアウトできる。

空き家・店舗の活用

1階はパン屋やカフェなどの飲食店、2階は創作スペースなど若者も暮らしたくなるような施設が団地などに入っている。



人とエリアが交流し つながるまち

テーブル6

1泊2日では楽しきれない洛西

洛西エリアを楽しむルートとコンテンツが生まれ、市外の人も洛西を楽しむことができる。

コンテンツ案

- ・大蛇が池公園で SUP（来場者に対応した駐車場完備）
- ・水を活かしたクラフトビール醸造所と
大原野の野菜を堪能できる BBQ スペース
（竹で制作したテーブルや椅子を使用）
- ・自動運転車のモデル地区
- ・竹林のなかのグランピング施設に宿泊
- ・新スポーツ「パデル」を体験
- ・竹林サウナで整う



人とエリアが交流し つながるまち

テーブル7

小畑川マルシェ

小畑川は様々なマルシェが開催されている。夏には川床をつくり、たくさんのキッチンカーが出店している。子どもたちもマルシェに出店している。夜は地ビールやワイン、日本酒などとともに、獣害被害対策をかねたジビエ料理を堪能できる。

竹林の維持と活用

洛西エリアや大原野の美しい竹林を活用した、竹林浴ができる。また、ボランティア活動も活発で、放置竹林の解消や竹林整備に担い手として関わることができる。



傾 向

洛西の自然や河川の活用

竹林や小畑川など洛西の自然豊かな環境を活かした暮らし方の提案が多数出された

新しい働き方と空きスペースの活用

空き店舗や空き家、公共空間などのスペースを使っているコワーキングスペースなど、様々な職種の人のつながりを生み出していく提案に共感が集まった

大原野など近隣エリアとの連携

ニュータウンエリアにとどまらず、大原野エリアや大学跡地など、近隣エリアとの回遊性や特産物の活用などの連携が提案された

宿 題

参考になりそうな事例を調べる

ビジョンの実現、および11月の社会時実験の取り組みアイデアを考える上で参考になりそうな他地域の事例などを調べてくる